▲

２０１２年産　GAPシート　　平成24年産米GAPチェックシート

	GAPシート番号	頁
11	1234567-	89

支所ｺｰﾄﾞ	123	支所名	米の丘支所	生産者ｺｰﾄﾞ	12345678	生産者名	栃木　太郎	記録開始年月	平成24年3月

■GAPチェック項目の確認

記入方法および注意事項　チェック項目の内容を確認し、自己点検欄に該当する数字を記入します。
1.した　2.しなかった　3.該当なし

作業工程	No	チェック項目（GAP規準）	自己点検	点検日
食品安全	1	畦畔も含め、登録農薬を使用した（非農耕地除草剤や無登録農薬の疑いのある資材を使用せず確認の取れた資材を使用した）。	1.した　2.しなかった　3.該当なし	／
食品安全	2	防除器具は、使用前に十分に点検し、使用後も十分に洗浄した（特に薬液タンク、ホース、噴頭、ノズルなど農薬残留の可能性がある箇所）。	1.した　2.しなかった　3.該当なし	／
食品安全	3	農薬は、容器や包装のラベルに記載されている使用方法、使用量、使用時期、使用回数等を守り、必要な量だけ調製して使用した。	1.した　2.しなかった　3.該当なし	／
食品安全	4	農薬散布時に、周辺作物及び人畜への影響を回避するため、飛散防止対策を行った（関係者への事前周知、風向きへの注意、動噴圧力の調整、飛散低減ノズルの使用、強風時の散布中止等）。	1.した　2.しなかった　3.該当なし	／
食品安全	5	乾燥機、調製施設の周りは常に清潔な状態に保ち、米穀を衛生的に取り扱った。	1.した　2.しなかった　3.該当なし	／
環境保全	6	良質堆きゅう肥等の有機物の施用、作土深の確保など、適切な土づくりを行った。	1.した　2.しなかった　3.該当なし	／
環境保全	7	土壌診断結果、あるいは施肥基準や栽培暦等を踏まえ、適正な施肥を行った。	1.した　2.しなかった　3.該当なし	／
環境保全	8	周辺の雑草防除や、適期の栽培管理（移植等）など、病害虫が発生しにくい環境づくりを行った。	1.した　2.しなかった　3.該当なし	／
環境保全	9	ほ場の観察、発生予察情報、農協・農業振興事務所の情報など、病害虫の発生状況を把握した上で防除を行った。	1.した　2.しなかった　3.該当なし	／
環境保全	10	河川等の汚染を防ぐため、代かき後の濁水や、農薬・肥料施用直後の水田水を流出させないよう努めた。	1.した　2.しなかった　3.該当なし	／
環境保全	11	地下水等の汚染防止のため、堆肥を保管する際、堆肥にシートをかけるなど、肥料分の流出を防止した。	1.した　2.しなかった　3.該当なし	／
環境保全	12	稲わらや前作の麦わらは、堆肥として利用したり、鋤き込むなど適正に処理した。	1.した　2.しなかった　3.該当なし	／
環境保全	13	プラスチック等の廃棄物は焼却せず、地域のルールに従い適切に処理した。	1.した　2.しなかった　3.該当なし	／
労働安全	14	危険な作業・場所を確認し、事故につながる恐れのある場合は改善するなど、事故やケガがないよう対策をとった。	1.した　2.しなかった　3.該当なし	／
労働安全	15	農薬散布は、防護服、手袋、マスク、ゴーグル等を着用して行った。	1.した　2.しなかった　3.該当なし	／
労働安全	16	作業前に農機、器具、設備の点検を行った。また、使用後に整備・清掃を行った。	1.した　2.しなかった　3.該当なし	／
労働安全	17	機械・装置・器具等は、取扱説明書を読むなどして適正に使用した。	1.した　2.しなかった　3.該当なし	／
労働安全	18	農薬、肥料、燃料等は適切に管理した。	1.した　2.しなかった　3.該当なし	／
管理全般	19	使用した肥料、農薬、土壌改良資材等の資材名、使用日、使用量等を生産履歴日誌に記帳した。	1.した　2.しなかった　3.該当なし	／
管理全般	20	肥料、農薬等の購入伝票を保管している。	1.した　2.しなかった　3.該当なし	／

２　０　１　２　年産　**GAPシート**　　平成24年産米GAPチェックシート　　１　１

GAPシート番号	頁
１ ２ ３ ４ ５ ６ ７	８ ９

支所ｺｰﾄﾞ	１２３	支 所 名	米の丘支所	生産者ｺｰﾄﾞ	１２３４５６７８	生産者名	栃木　太郎	記録開始年月	平成２４年３月

■GAPチェック項目の確認　　記入方法および注意事項

作業工程	No	チェック項目（GAP基準）	自己点検	点検日
管理全般	21	種子は購入種子（更新種子）を用いるとともに、品種名を確認した。	1.した 2.しなかった 3.該当なし	－－/－－
管理全般	22	種子・苗（苗箱）は品種が区別できるよう管理した。	1.した 2.しなかった 3.該当なし	－－/－－
管理全般	23	播種機や催芽機は、作業前・品種切替え時に清掃し、残留した籾を取り除いた。	1.した 2.しなかった 3.該当なし	－－/－－
管理全般	24	田植機は、品種切替え時に清掃し、付着した苗を取り除いた。	1.した 2.しなかった 3.該当なし	－－/－－
管理全般	25	1ほ場1品種の作付けとし、他品種が混ざらないようにした。	1.した 2.しなかった 3.該当なし	－－/－－
管理全般	26	ほ場ごとの熟期を把握し、収穫・乾燥・調製能力に応じた適期収穫を行った。	1.した 2.しなかった 3.該当なし	－－/－－
管理全般	27	倒伏、穂発芽が発生した場合、被害をうけた部分は、刈り分け収穫・出荷した。	1.した 2.しなかった 3.該当なし	－－/－－
管理全般	28	コンバインや乾燥設備等は、品種切替え時に清掃を行い、他品種が混ざらないようにした。	1.した 2.しなかった 3.該当なし	－－/－－
管理全般	29	（共同乾燥施設利用）搬入時に品種名の確認をした。	1.した 2.しなかった 3.該当なし	－－/－－
管理全般	30	乾燥・調製作業の前に、各設備の整備・点検、故障箇所の修理を行った。	1.した 2.しなかった 3.該当なし	－－/－－
管理全般	31	乾燥機への張り込みミスが無いことを確認した（異品種混入防止）。	1.した 2.しなかった 3.該当なし	－－/－－
管理全般	32	紙袋、受検カード（検査依頼書）に記載ミスが無いことを確認した。	1.した 2.しなかった 3.該当なし	－－/－－
管理全般	33	米を出荷する際、集荷業者から名称、産地、数量、年月日、相手方の名称、搬入または搬出した場所、用途限定米穀についてはその用途が記載された伝票等を受け取った（3年間保存）。	1.した 2.しなかった 3.該当なし	－－/－－
管理全般	34	用途限定米（米粉用、飼料用等）は、その定められた用途で出荷・販売した。	1.した 2.しなかった 3.該当なし	－－/－－
	35		1.した 2.しなかった 3.該当なし	/
	36		1.した 2.しなかった 3.該当なし	/
	37		1.した 2.しなかった 3.該当なし	/
	38		1.した 2.しなかった 3.該当なし	/
	39		1.した 2.しなかった 3.該当なし	/
	40		1.した 2.しなかった 3.該当なし	/

２ ０ １ ２ 年産 **GAPシート** 平成24年産米放射性物質技術対策GAPチェックシート

１ １ GAPシート番号 １ ２ ３ ４ ５ ６ ７ - 頁 ８ ９

支所ｺｰﾄﾞ	1	2	3	支 所 名	米の丘支所	生産者ｺｰﾄﾞ	1	2	3	4	5	6	7	8	生産者名	栃木 太郎	記録開始年月	平成24年3月

■GAPチェック項目の確認　　記入方法および注意事項　　自己点検欄に1.2.3のいずれかを必ず記入します。

作業工程	No	チェック項目（GAP規準）	自己点検	点検日
農地汚染防止	1	堆肥、腐葉土、肥料、土壌改良資材、培土等を購入する場合、購入先に放射性セシウムの暫定許容値（400Bq/kg）を超えていないものかを確認した。	1.した 2.しなかった 3.該当なし	－－/－－
農地汚染防止	2	自ら堆肥等を製造する場合は、放射性セシウムに関する使用制限のない安全な原料を使用した。	1.した 2.しなかった 3.該当なし	－－/－－
農地汚染防止	3	暫定許容値（400Bq/kg）を超えている堆肥、腐葉土、肥料、土壌改良資材、培土等については使用せず、隔離の上、シートで覆って保管した。	1.した 2.しなかった 3.該当なし	－－/－－
農地汚染防止	4	放射性物質が付着した土壌の流出防止のため、強制落水は行わず、代かきは浅水で行った。田植え時などやむを得ず強制落水する場合は、水の濁りが十分になくなるまで数日間放置した後行った。	1.した 2.しなかった 3.該当なし	－－/－－
吸収抑制対策	5	土壌中の粘土鉱物へ放射性セシウムを吸着促進させるため、作付け前に深耕や反転耕を行うか、もしくは通常ロータリーでやや深く耕耘した。	1.した 2.しなかった 3.該当なし	－－/－－
吸収抑制対策	6	農作物への放射性セシウムの吸収を抑えるため、加里が不足しているほ場では適正量の加里質肥料を施用した。	1.した 2.しなかった 3.該当なし	－－/－－
付着防止対策	7	倒伏しないような肥培管理を行った。	1.した 2.しなかった 3.該当なし	－－/－－
付着防止対策	8	コンバインの収穫時の刈り高を10cm程度にやや高くして、収穫した。	1.した 2.しなかった 3.該当なし	－－/－－
作業者の被ばく防止	9	放射性物質の吸引や付着を避けるため、農作業中、必要に応じ、防塵マスク、ゴーグル、ゴム手袋、ゴム長靴を着用するとともに、長袖・長ズボンにより皮膚の露出を減らした。	1.した 2.しなかった 3.該当なし	－－/－－
作業者の被ばく防止	10	放射性物質の吸引や付着を避けるため、風が強くほこりが舞うような場合、屋外での休憩（飲食、喫煙等）は避けた。	1.した 2.しなかった 3.該当なし	－－/－－
作業者の被ばく防止	11	ほ場での作業終了後、うがいをするとともに、手や顔など露出している部分をしっかり洗った（必要に応じて、目や鼻も洗った）。	1.した 2.しなかった 3.該当なし	－－/－－
作業者の被ばく防止	12	靴や服についた土や泥等を家の中に持ち込まなかった。	1.した 2.しなかった 3.該当なし	－－/－－
	13		1.した 2.しなかった 3.該当なし	/
	14		1.した 2.しなかった 3.該当なし	/
	15		1.した 2.しなかった 3.該当なし	/
	16		1.した 2.しなかった 3.該当なし	/
	17		1.した 2.しなかった 3.該当なし	/
	18		1.した 2.しなかった 3.該当なし	/
	19		1.した 2.しなかった 3.該当なし	/
	20		1.した 2.しなかった 3.該当なし	/